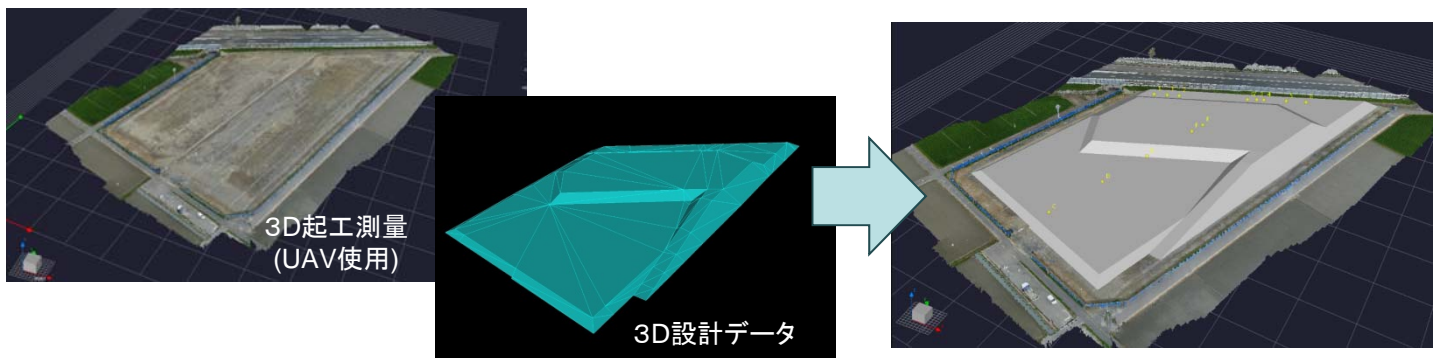


○ 施工者(元請け)は、今後建設業界で主流となるICT施工に対する関心が高く、社をあげて当該施工に対応する技術者の育成に取り組む方針であり、中部地整管内でも先進的にICT土工を導入

・施工者(元請け)が主体となり、システム会社・建設機械メーカーと連携し、3次元起工測量(UAV)、3次元設計データ作成、ICT建機による施工、3次元出来形等の施工管理、3次元データ納品の一連の作業を実施。



UAVによる空中写真測量を行い、3次元出来形管理を行うための3次元設計データを作成



ICTブルドーザによる敷均し(8月19日)



ICTバックホウによる法面整形(9月27日)

現場の声 信藤建設(株)

- **工期:**「UAV使用により、測量日数が4日から0.5日に短縮できた」
「2人で1.5日/週 拘束されていた測量・丁張り作業が不要になり、空いた時間を他の業務に割くことが出来、元請職員の業務効率・職務環境が向上した」
- **精度:**「盛土工の施工量がリアルタイムで確認出来るようになり、出来高把握が容易になった」
- **品質:**「車載モニターの締固め回数分布図の確認により、確実な締固め管理が行えるようになった。オペレーターの技量に左右されることが無くなり、均一で精度の高い仕上がりが可能となった」
- **施工・安全:**「ICT建機での施工により、土材料の過不足を最小限に抑えることが出来、効率性が向上した。施工ヤードから丁張りが無くなるため、重機や工事車両との接触や緩衝等の心配が無くなり、ヤードを最大限活用出来るようになった」